

National Association of Crime Victims and Surviving Families

NAVS

ニュース・レター

第37号 2010.2.23

E-mail asunokai@navs.jp URL http://www.navs.jp

全国犯罪被害者の会



〒100-8698

郵便事業株式会社 銀座支店

郵便私書箱2346号

TEL:03-5319-1773 FAX:03-5319-1774

創立 10 周年記念大会・シンポジウム特集号

C O N T E N T S

開会の辞.....	02	時効廃止に向けて 河野 敬 弁護士.....	09
祝辞 加藤公一 法務副大臣.....	03	パネルディスカッション「望ましい経済的被害回復制度」.....	11
祝辞 石原慎太郎 東京都知事.....	04	人形劇「悲しみの果てに」.....	22
あすの会が世界に与えた影響 諸澤英道 常磐大学理事長.....	05	新たな活動の展開を祈って 北尾哲郎 弁護士.....	23
動き出した被害者参加と損害賠償命令 岡村 勲 代表幹事.....	07	あすの会10年の歩みと関連事項.....	24

2010年1月23日に創立10周年を迎えた全国犯罪被害者の会(あすの会)では「創立10周年記念大会・シンポジウム「あすの会 10年の歩みと今後の課題」」を開催いたしました。当日、会場となった日比谷三井ビルのホールには300名以上の方にご来場いただき、例年にも増して熱気に包まれた大会となりました。

今回、ニュース・レターでは、特集号として大会・シンポジウムの概要をご紹介します。

あすの会創立 10 周年を迎えて

代表幹事 岡村 勲

1月23日、全国犯罪被害者の会(あすの会)の10周年記念大会が行われました。

当日は寒い日ではありましたが、朝早くから大勢の方が詰めかけられ、準備した300部の資料はあっという間になくなりました。

11時30分から始まった林良平さん脚本・演出のクライシス座による、糸あやつり人形劇「悲しみの果てに」は、大変な好評を博しました。

午後1時から、ご多忙の中をご出席下さった加藤公一法務副大臣が「凶悪犯罪の公訴時効の廃止、延長」について、その実現に向けたなみなみならぬ決意を披露してくださいました。あすの会設立当初からご支援いただいた石原東京都知事からは、犯罪被害者よりも加害者の人権を重視する制度に疑念を示され、当会の果たした役割を高く評価するご祝辞を頂きました。

続いて、「10年の歩み」をまとめた映像が上映され、会の活動を回顧しました。

諸澤英道先生のあすの会が世界に与えた影響に

ついての講演に続いて、私が「被害者参加・損害賠償命令」についての実情報告を致しました。河野敬弁護士の公訴時効廃止に向けての講演があり、「望ましい経済的被害回復制度」についてのシンポジウムが開かれましたが、会員2人の経済的に困窮している報告は、会場をしんとさせ、あちこちですすり泣きの声が聞こえました。

その後、総会にて幹事、新幹事、会計監査の選任があり、3つの決議案の採択があって午後5時半に終了しました。今後は被害者の経済的補償に重点を置いて活動することになります。

大会・総会の様子は、大会要旨をご覧ください。

6時から始まった懇親会には、125人が出席してにぎやかに行われました。その後の二次会には40人も参加者があったとのこと。創立以来、会の世話をしてくれている北尾哲郎弁護士は、「出席者の表情が明るくなった」と感想を述べていました。いままでやったことの達成感、充実感が現れたのでしょうか。